

2013年2月28日
株式会社博報堂DYホールディングス

博報堂DYグループ、独自開発のソーシャルメディア分析ツールに 広告主ニーズの高い2つの機能を新たに搭載

昨年10月から提供中の「Topic Finder for Advertiser」を機能強化
『CM・番組の波及効果分析』『Twitter詳細分析』が可能に

博報堂DYグループの横断組織「博報堂DYグループ・ソーシャルメディア・マーケティングセンター」は、昨年10月より広告主企業向けに、独自開発のソーシャルメディア分析ツール「Topic Finder for Advertiser（トピックファインダー・フォー・アドタイザー、以下TFA）」をASPサービスとしてご提供しておりますが、このたび、広告主からのご要望が多い2つの機能を新たに搭載し、「バージョン2.0」としてのご提供を開始します。

今回追加した機能は『CM出稿・番組露出量の波及効果分析』と、『リツイート数・フォロワー数・ハッシュタグを使ったTwitter詳細分析』の2つです。

【新機能1】CM出稿・番組露出量の波及効果分析（図1参照）

調べたいブランド名やキーワードがソーシャルメディア上でどのように発言されているかを、関連するCM出稿やテレビ番組の露出状況と紐付けて分析できる機能です。CM出稿量と番組露出量の増減と、ソーシャルメディア上のクチコミ量の変化を連動させて時系列で比較することで、実施したプロモーションの反響・波及効果を効率的に調べることができます。

CM出稿とテレビ番組露出に関するデータは、株式会社エム・データが構築する「TVメタデータ」を使用します。

【新機能2】Twitter詳細分析（リツイート数、フォロワー数、ハッシュタグ）（図2参照）

Twitterの全体ツイート数だけでなく、リツイート数やフォロワー数、ハッシュタグごとの発言量などの時系列分析ができる機能です。フォロワー数の多さで分析対象ユーザーを絞り込んだり、ツイート数にリツイート数・フォロワー数を掛け合わせることでリーチのボリュームを把握するなど、詳細な分析が可能です。テレビ番組の局公式ハッシュタグを用いて、番組放送中のツイート集計・分析もできます。

※ 新機能1・2ともに有償オプションとして自由にお付け頂くことができます。

※ 2012年10月から本日まで間にTFAを導入済の広告主様にも、有償オプションとして追加して頂けます。

【広告会社ならではの機能とサービス】～ツール提供からレポートまで～

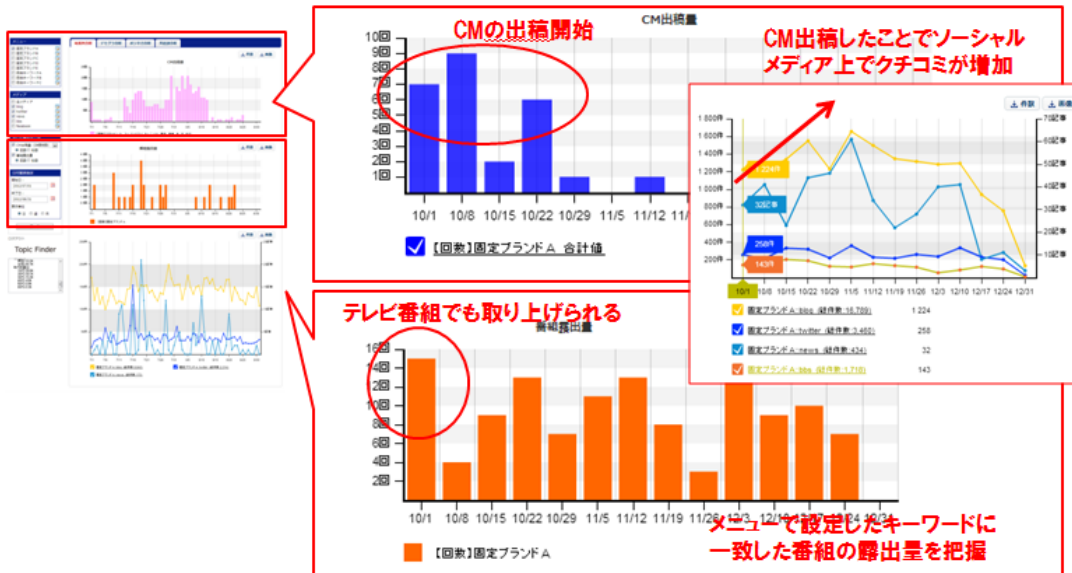
商品・ブランド分析を強みとするTFAは、単なるクチコミ量の把握にとどまらず、ブランドの評判(ポジネガ分析)、関連性のあるブランド抽出(共起語分析)、ブログのプロフィール情報を用いたデモグラフィック分析など、最新のソーシャルリスニングツールとしての多種多様な分析機能を備えています。

今回、これらの新たな2機能を追加することで、各種キャンペーン・プロモーションを実施する広告主にとって、よりご活用いただきやすい効果測定ツールへと進化いたしました。

また、TFAは、ツール単体のASP販売のみならず、『定期レポートつきパッケージ』としての

ご提供も行います。博報堂D Yグループの担当者がTFAを用いてソーシャルメディアをリサーチし、広告主企業のご要望に基づいた内容で、月1回の定期レポートをお届けします。

(図1)



(図2)



博報堂D Yグループでは今後も、ソーシャルメディア情報の特徴と最新の解析技術を活かした多様なソリューションの開発に取り組み、広告主企業の皆様にご提供してまいります。

<報道関係者様からのお問合せ>

博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 山野・大野 TEL:03-6441-9062

(※企業様向けのサービス導入お問合せ先は p4 に記載しています。)

(参考資料)「Topic Finder For Advertiser (TFA)」の概要

◆「Topic Finder For Advertiser」とは

ソーシャルメディア上に書き込まれているクチコミを分析できるソーシャルリスニングツールの ASP サービス。商品・ブランドに関する分析が強み。グループ企業である博報堂が2007年にデータセクションの協力により開発し博報堂D Yグループ社内で運用していた「Topic Finder」を、2012年10月、新たに広告主企業向けのASPサービスとして開発・商品化した。2013年2月、機能強化したバージョン2.0をリリース。

◆サービスの特長

・博報堂D Yグループの担当者による「事前キーワード設定」

ソーシャルメディア分析で一番重要なのは検索キーワード設定。除外条件など、きめこまかな設定を行うことで、発言を漏れなく効果的に分析することができる。TFAでは博報堂D Yグループ各社の専任担当者が、企業が分析を希望するブランド(最大5つ)について、予め適切なキーワード設定を行い、サービスを提供する。

・自由なキーワード設定も可能

キーワード設定は、利用企業側で自由に行っていただくことも可能。定期的に分析できる最大5つのキーワードのほか、不定期や緊急で分析を行う際にさらに3つのキーワード設定が可能。

・日本最大級のソーシャルメディア収集量・収集範囲

本サービスで分析できるソーシャルメディアデータの収集量・収集範囲は国内最大級。ブログ、Twitter、ニュースなど、複数の媒体に横断して分析可能。

・多種多様な分析機能を搭載

単純に発言数を把握するだけでなく、ブランドの評判(ポジネガ分析)、関連性のあるブランド抽出(共起語分析)、ブログのプロフィール情報を用いたデモグラフィック分析など、最新のソーシャルリスニングツールとしての多種多様な分析機能を搭載。

◆主な活用シーン

・プロモーションの効果測定

プロモーション実施時の評判、クチコミ拡散度の把握、プロモーション前後でのクチコミ総量の変化を分析

・自社/他社商品のクチコミ調査

自社/他社の商品(ブランドや企業名なども含む)がソーシャルメディア上でどう評価されているのかを分析

・業界のクチコミ市場調査

業界のクチコミ総量(業界全体)の成長曲線と自社ブランドのクチコミ量の比較分析、およびその要因分析

・風評調査・モニタリング

ソーシャルメディア上に日々投稿される書き込みを監視することで、早期にネガティブ要因を検知、共有

◆多彩な機能

メニュー(検索キーワード)設定/時系列分析/共起語分析/ポジネガ分析/CM・番組露出の反響分析【New!】
/プロフィール分析(ブログのみ対象)/Twitter詳細分析【New!】

◆データ提供会社について

データセクション株式会社

データセクション株式会社は、インターネット上のテキストデータを対象に検索・分析を行っているソーシャルメディア分析企業です。2000年会社設立よりインターネット上の情報を大規模に収集してきたクロウリング技術と、自然言語処理に特化した技術的ノウハウを駆使し、膨大なテキストから効率よく傾向を分析し、意思決定に活用出来る様々なサービスを展開しています。

株式会社エム・データ

株式会社エム・データは、テレビ放送実績を独自にテキストデータベース化(TVメタデータ化)して、調査・分析・配信を行っている、2006年に設立された「データプロバイダ/リサーチカンパニー」です。主なサービスには、東京・名古屋・大阪地区のテレビ番組・CMを24時間365日モニタリングし、放送内容を詳細に記録したTVメタデータを提供する「データ配信サービス」、お客様のご要望に応じて調査・分析を行う「放送実績調査サービス」、CMの全放映実績に関する月次レポートの「エムデータCMレポート」、朝のニュース・ワイドショー番組で取り上げられた話題をランキング形式にて配信する「日刊TVニュース速報」などがあります。

◆サービス導入についてのお問い合わせ

[下記の窓口までお問い合わせ下さい。](#)

大 広 デジタルソリューション局 黒澤・田中（東京）／小田（大阪）
TEL：03-6364-8418 tfa-daiko.info@daiko.co.jp

「博報堂DYグループ・ソーシャルメディア・マーケティングセンター」について

ソーシャルメディアを活用したクライアントへのソリューション提供の取り組みや新サービスの開発を行う博報堂DYグループ横断の組織です。中核事業会社4社（博報堂、大広、読売広告社、博報堂DYメディアパートナーズ）だけでなく、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム、博報堂アイ・スタジオを始めとしたグループ各社それぞれの動きや情報を一括集約し、ソーシャルメディアに関連するビジネス/サービス開発をグループ一体で推進しています。